

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和2年度事業分)

1 施設の概要

<b>施設名</b>	山梨県立あさひワークホーム	<b>所管課</b>	福祉保健部 障害福祉課
<b>所在地</b>	韮崎市旭町上條南割3294	<b>設置年月日 (改築年月日等)</b>	昭和58年5月1日
<b>管理方式</b>	社会福祉法人山梨県障害者援護協会		
<b>設置根拠 (法律、条例等)</b>	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例		
<b>設置目的</b>	身体障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図るため。		
<b>主な施設内容 (定員等)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○敷地面積:17,240㎡</li> <li>○建築延面積:1,998.43㎡</li> <li>○建物の構造:鉄筋コンクリート造平屋建、鉄骨造平屋建ほか</li> <li>○施設の内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理居住棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 1,580.92㎡</li> <li>・渡り廊下(鉄骨造平屋建) 50.00㎡</li> <li>・作業棟(鉄骨造平屋建) 291.12㎡</li> <li>・プロパンボンベ置場(コンクリートブロック造平屋建) 6.10㎡</li> <li>・短期入所用居室(鉄骨造等) 70.29㎡</li> </ul> </li> <li>○各障害福祉サービスの定員 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活介護:38人</li> <li>・就労移行支援:8人</li> <li>・施設入所支援:40人</li> <li>・短期入所:5人</li> <li>・就労継続支援B型:34人</li> </ul> </li> </ul>		
<b>主な業務内容</b>	<p>(1)施設等の維持保全に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。</li> </ul> <p>(2)利用者に対する障害福祉サービス業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活介護、短期入所、就労移行支援、就労継続支援B型及び施設入所支援に係る業務を行う。</li> </ul>		

2 類似施設・近隣施設

<b>名称 施設内容 利用状況等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あゆみの家:自立訓練(通所 22人、夜間 20人)、短期入所(2人)</li> <li>・梨の実寮:生活介護(52人)、就労移行支援(6人)、就労継続支援B型(12人)、施設入所支援(50人)、短期入所(6人)</li> <li>・あけぼの医療福祉センター成人寮:生活介護(45人)、自立訓練(機能訓練)(15人)、施設入所支援(40人)、短期入所(15人)</li> <li>・育精福祉センター成人寮:生活介護(105人)、短期入所(9人)、施設入所支援(90人)</li> </ul>
------------------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (目標値)
利用者数	生活介護	37	36	35	
	就労移行	3	3	3	
	就労継続B型	32	31	28	
	施設入所・短期入所	37	35	36	
	利用者数合計	109	105	102	
	目標値	125	125	125	
	目標値設定の考え方及びその理由	定員を目標値とする			
	対平成30年度比		96.3%	93.6%	
利用率	87.2%	84.0%	81.6%		

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)	令和2年度 (実績値)	令和3年度 (計画値)
収入	施設利用料	193,586,495	192,740,000	195,692,370	
	指定管理者委託料				
	その他	13,850,518	13,470,000	22,455,539	
	収入合計(A)	207,437,013	206,210,000	218,147,909	
支出	人件費	132,536,551	134,300,000	131,315,635	
	県への納付金				
	管理運営費	72,187,302	71,910,000	72,637,311	
	うち外部委託費(B)	15,621,950	16,500,000	16,253,238	
	支出合計(C)	204,723,853	206,210,000	203,952,946	
収支差額(A-C)		2,713,160		14,194,963	
外部委託比率(B÷C)		7.6%	8.0%	8.0%	
利用者一人当たりの経費		1,975,590.6	1,541,920.0	2,138,705.0	

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

<b>実施方法等</b>	実施時期: 令和3年3月 実施方法: 入所及び通所利用者へのアンケート方式 回答数 : 55人(最大値)
--------------	--

単位: %

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
施設設備	55.0%	33.0%	7.0%	5.0%
個別支援計画	58.0%	25.0%	15.0%	2.0%
日課・作業等	66.0%	28.0%	6.0%	
食事	43.0%	33.0%	10.0%	14.0%
入浴	56.0%	35.0%	9.0%	
健康管理	58.0%	40.0%		2.0%
職員の対応・接し方	64.0%	30.0%	6.0%	
外泊対応	21.0%	45.0%	17.0%	17.0%
外出対応	43.0%	25.0%	14.0%	18.0%
施設を利用した感想	68.0%	20.0%	12.0%	
施設全般の満足度	68.0%	20.0%	12.0%	

<b>利用者の意見</b>	<p>【施設設備】</p> <p>①居室などの掃除をもっと手伝ってほしい。</p> <p>②部屋を一人部屋にしてほしい。</p> <p>【個別支援計画】</p> <p>③内容がよくわからないことがある。</p> <p>【日課・作業等】</p> <p>④工賃がもっと欲しい。</p> <p>【食事】</p> <p>⑤今年もコロナ対策が取られているが、特に問題を感じない。</p> <p>【入浴】</p> <p>⑥滑り止めを取り付けて安全に移動したい。</p> <p>【外出・外泊等】</p> <p>⑦コロナ禍により外出、外泊ができないが仕方ないと思う。</p>
---------------	---

利用者の意見への対応	<p>①寮日勤職員が常に居室を見回り、部屋の換気や清掃に努めた。</p> <p>②利用者間のトラブルや騒音などに配慮し、同意を得て部屋替えや個室を提供した。</p> <p>③障害特性に配慮し、できる限り丁寧な説明を心がけ、納得を得るように努めた。</p> <p>④新規営業活動を行い、2件の新作業に取組み工賃向上を目指した。(農福作業、食品加工)</p> <p>⑤食事では対面の席を止め、密を避けるため時間差での食事提供を実施した。</p> <p>⑥洗い場の段差にコンクリートスロープを設置した。</p> <p>⑦週に一度曜日を決めて、職員が利用者の買い物代行を行った。 コロナ感染の状況を見ながら、職員付添の下で外出支援を行った。 家族等に向けて、利用者の健康状態やコロナに関する対応策など情報の発信機会を増やした。</p>
------------	---

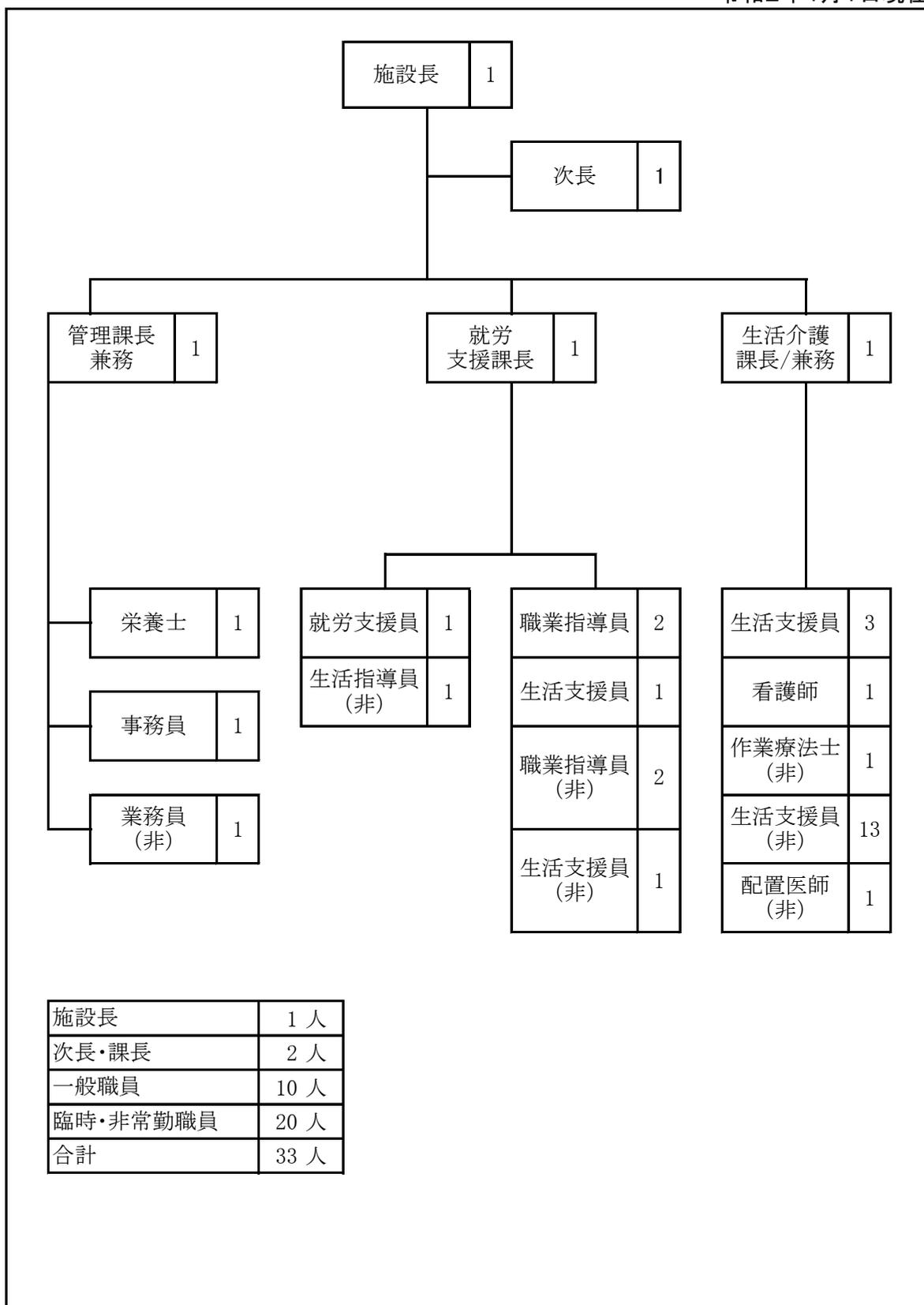
## 6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>施設の保守管理について、快適な環境を維持し、利用者のサービスの向上を図った。</p> <p>また、老朽化の著しい設備・備品等の更新及び安全基準上の必要な措置として、県営繕工事により、自動火災通報設備一式を更新していただいた。</p> <p>各種、法定点検の適正な実施に加え、確実な保守管理ができるよう契約業者の見直しなど、コスト面と併せて検討した。</p>	<p>施設整備補助金を活用し、感染症の患者等を隔離するプレハブ等を設置したほか、設備等の修繕・更新を実施し、適正な維持管理がなされている。引き続き利用者の利便性等を考慮した対応を行っていくこと。</p>
運營業務	<p>利用契約の際に、利用者及び家族に対し当該事業の基本方針及び支援内容をわかりやすく説明するとともに、目標達成に向けた個別支援計画を作成し、支援を行った。</p> <p>施設事業の内容を、全体集会やオリエンテーション等で利用者へ説明を行い、利用者の意向を反映できるよう支援を行った。</p> <p>懸念されるコロナ禍での運営は、国・県の指導に従い、利用者・家族と情報を共有し対策を講じてきた。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、一時的に通所利用を制限する等の対応を取ったが、市町村との連携による電話支援を行う等、適正な支援が行われている。</p> <p>引き続き、個々の利用者の特性に合わせた質の高いサービスの提供を行うこと。</p>
利用状況	<p>各サービス事業の年間利用実績から、施設入所・短期入所事業については前年比を上回る利用者数を確保できたが、就労継続B型事業においては通所利用者が主な利用者となるため、コロナウイルス等も若干影響し、3名程度の利用者減となった。次年度において、引き続き関係機関との連携を図り利用者の増加を目指したい。</p>	<p>高い利用率を確保している。新型コロナウイルス感染拡大への十分な対策を講じつつ、引き続き利用者の確保に努めること。</p>
収支状況	<p>施設収入としては、コロナウイルス対策として一時的に通所利用を制限する措置も行ったが、市町村と連携し電話支援を実施する等の収入減対策を実施し、適正な開所日調整を行った結果、施設収入前年比で約210万円の収入増ができた。支出面としてはコロナウイルス対策にて衛生費等が若干増加したが、契約業者の見直し等、経費削減対策を実施し、前年比を下回る支出額となった。</p>	<p>コロナウイルス感染症による影響もある中、施設の努力もあり、収入増となっている。その他収入については、コロナウイルス感染症対策関連の施設整備補助金や慰労金等の受入があったため、額が大きくなっている。引き続き効率的な事業の執行や経費節減等に努め、収入の確保を図っていくこと。</p>

<p>自主事業</p>	<p>指定相談支援及び日中一時支援事業について、事業計画書に基づき適正に業務を執行した。 指定相談支援事業では、86名の計画相談を担当し、263件のモニタリングを実施し、平成26年の開所以来、安定した相談サービスを継続してきた。</p>	<p>自主事業申請の内容に基づき適正に業務が行われている。</p>
<p>利用者満足度</p>	<p>「満足」「どちらかと言えば満足」の回答が多く出ている。 今後においても、利用者の視点に立ったサービスの提供に心がけていく。また、少数意見に対しても可能な限り対応するよう努めていく。</p>	<p>満足度調査で挙げられた不満点について、可能な部分は改善し、引き続き利用者の満足度の上昇を図っていくこと。</p>
<p>運営目標の達成状況</p>	<p>高齢化、障害の重度化が進む中で、転倒報告や嚥下機能低下等の問題もあるため、介護機器の導入及び食事時の良肢位確保に心がけ、安心・安全の生活ができるよう支援した。また、ノロウイルス、インフルエンザ等の予防対策に加え、1年を通じて新型コロナウイルス感染症に対し、感染拡大防止対策を国や県の指導に従い、利用者・職員の健康チェックの強化、活動内容の変更や面会・外出等の制限を実施した。</p> <p>個別支援計画に基づいた就労支援・生活支援を行うとともに定期的な評価、アセスメントを実施することで利用者ニーズに合った質の高いサービスを提供できた。</p> <p>基本協定書、事業計画等に基づき、専門業者による法定点検及び職員による定期点検を実施した。利用者の快適な施設生活が送れるよう、緊急または簡易な修繕工事等を19件施工又は更新した。</p> <p>関係機関への働きかけを強化するなどし、利用者確保に努めた。 その他、地域における公益的な取組みとして、地域住民の方を対象に施設案内やスポーツ交流会、福祉のお仕事体験などを計画・立案したが、コロナ禍の影響により協議のうえ中止、駐車場の貸出しは今年の9件に対し2件に留まった。</p>	
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>新型コロナウイルス感染症への対策等の影響から、イベントや企画等が中止となったが、感染者を出すことなく運営されていた。 施設・設備等の維持管理については必要の都度対応する等、条例や協定等に基づき適正に履行されていた。 効率的な運営を行うとともに、利用者ニーズの把握に努め、質の高いサービスを提供していた。 令和3年3月末で指定管理が終了し、4月以降は法人運営に移行するが、引き続き新型コロナウイルス感染症感染対策に留意しつつ、適正な業務遂行を期待する。</p>	
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>条例、協定等に基づき適正な執行を行い、施設・設備については利用者の安全や利便性に留意し、随時、修繕を行った。 サービス向上に努めるとともに、効率的かつ安定した施設運営を行った。 利用者満足度調査の結果を踏まえ、利用者個々のニーズに対応するよう努力した。</p>	

7 管理体制(組織図)

令和2年4月1日現在



施設長	1 人
次長・課長	2 人
一般職員	10 人
臨時・非常勤職員	20 人
合計	33 人